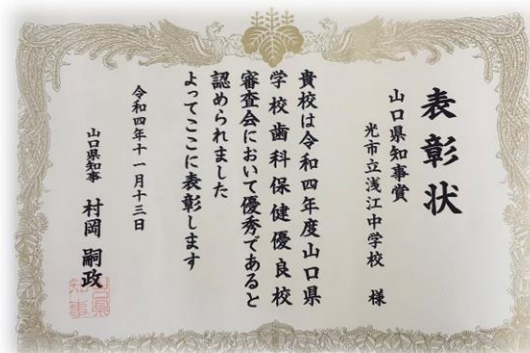


浅江中学校として受賞

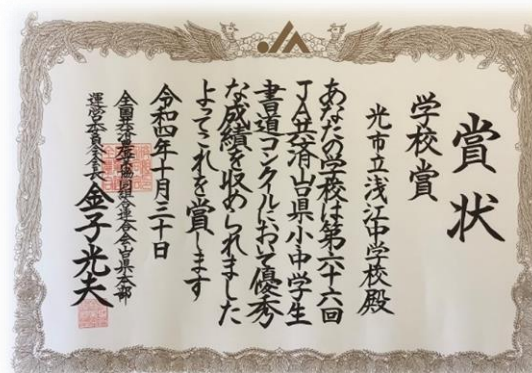
令和4年度「8020運動」推進表彰 山口県歯科保健優良校 山口県知事賞

本賞は、家庭や地域との連携が意図され具体的な歯科保健活動が実施されていることや、学校行事等で毎学期1回以上、健康診断結果等を踏まえた歯・口の健康づくりに関する活動が実施されていること、生徒が歯科保健活動を行えるような教育活動が実施されていること等が選考の基準となっています。実際、本年度実施した歯科健康診断の際、学校歯科医の先生から、浅江中生徒の虫歯や歯垢の少なさや、歯肉の状態が良い等のお褒めの言葉をいただいています。



第66回 JA 共済山口県小・中学生書道コンクール 学校賞

本賞は、山口県下257の小学校、126校の中学校が応募した中から、応募総数や各審査を通過した作品数等から優秀学校を選出しており、小学校は、「下関市立生野小学校」、「周南市立大河内小学校」の2校、中学校は、「浅江中学校」だけが選ばれました。



後期中間テストに向けて

先週部活動停止となり、校内は定期テストに向けたムードです。学校の隙間時間を活用して、個々の学習を進めようとする子どもたちの姿が至るところで見られます。すでにテスト範囲に到達している教科では、授業の余った時間等に黙々とワークをしたり、ノートをまとめたりする姿が見られます。昼休みは、教室内で学習したり、わからないところを先生方に質問したりする姿が見られます。2年生は、昼休みに自習部屋を設置し、学習環境を整えた上で、多くの子どもたちが自分の学習を進めています。

学校では、周囲の雰囲気や学習するムードになったり、学習環境が整えられたり（自習室、質問に答える先生など）していますが、下校後は、それぞれの意思で学習を進めることとなります。社会に出てから必要とされる力のひとつに「自ら学ぶ力」があります。まさに今、その力を培う絶好の機会です。



昼休みの2年生が利用している自習室の様子です。静まり返った室内で、黙々と自習をする姿が、さすが2年生です。

昼休みに廊下や教室で、友だちとわからないところ等を確認しあう1年生です。1年生の校舎の至る所で見られる光景です。

